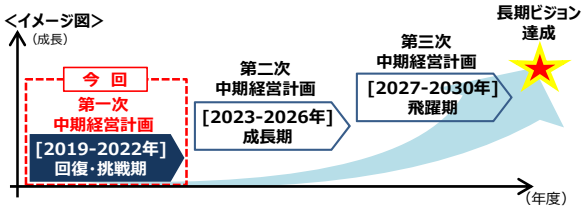
北陸電力グループ第一次中期経営計画<2019～2022年度>【概要版】

２０１９年４月
北陸電力株式会社

第一次中期経営計画の位置づけ

北陸電力グループ2030長期ビジョンの達成に向け，**具体的な実行計画として「第一次中期経営計画<2019～2022年度>」を策定**しました。この期間は**将来のありたい姿の実現に向けた最重要期間であり，「回復・挑戦期」と位置付け**ています。経営方針の４本柱の下，グループ一丸となって足もとの諸課題を着実に解決していくとともに，新たな事業領域に挑戦することで**将来の成長に向けた土台を形成**していきます。



＜第一次中期経営方針（４本柱）＞
1．安定供給の確保
2．総合エネルギー事業の競争力強化
3．グループ総力による事業領域拡大
4．企業文化の深化

１．安定供給の確保

■原子力発電設備
- ベースロード電源として重要な役割を担う志賀原子力発電所の安全強化に徹底して取り組むとともに，新規制基準への適合性確認審査に的確に対応し，**早期再稼働を目指します**。

■火力，水力・再生可能エネルギー発電設備
- 発電設備の確実な運転保守管理，経年設備の計画的な更新および燃料の安定的調達等を通じ，**引き続き安定供給を確保**します。

■流通設備
- 高経年設備の計画的更新等により，**安定供給を確保するとともに，再生可能エネルギー大量導入への対応やレジリエンス（強靭性・回復力）向上に向けた訓練・設備の充実**に取り組みます。

２．総合エネルギー事業の競争力強化

(１)発電部門

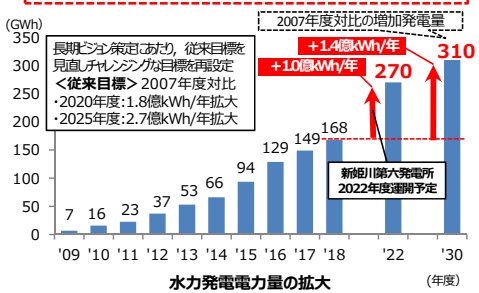
■原子力発電設備　（「１.安定供給の確保」と同じ）

■水力・再生可能エネルギー発電設備
- 2030年度再生可能エネルギー発電電力量＋20億kWh/年（2018年度対比）を目指し，**水力発電電力量の増加や石炭火力発電所におけるバイオマス混焼率向上等の諸施策を推進**します。

＜水力発電電力量拡大に向けた対応＞
－新規水力発電所の開発や既設設備の改修等に取り組んでいきます。

※2018年度対比

計数目標＜水力発電電力量＞
・第一次期間(2022年度)＝**＋1.0億kWh/年**※
（2030年度時点には**＋1.4億kWh/年**※）

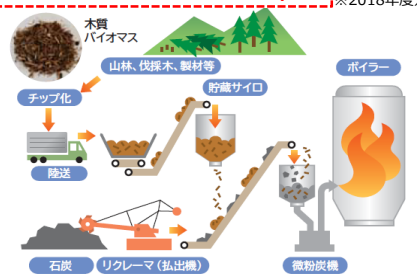


水力発電電力量の拡大

＜バイオマス混焼率増加に向けた対応＞
－石炭火力発電所における**バイオマス発電電力量の増加**に向け，**フィジビリティスタディや設備の改造計画等を策定**していきます。

計数目標＜バイオマス発電電力量＞
・2030年度時点で**＋15億kWh/年**※

※2018年度対比



石炭火力発電所におけるバイオマス混焼発電のイメージ

■火力発電設備
- 火力発電所の経済的運用等を通じて，**電源の競争力強化**に努めていきます。
- また，**経済性や環境面も考慮した将来の火力電源設備の再構築**についてもあらゆる選択肢を視野に検討を進めていきます。

（つづき）２．総合エネルギー事業の競争力強化

(２)販売部門

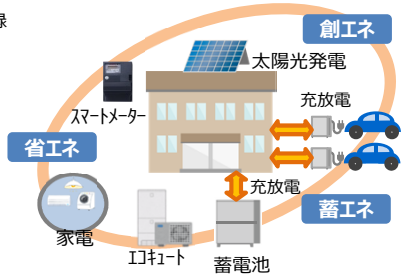
■お客さまから選択いただくための営業活動
- 魅力あるサービスや料金メニューの提供，エネルギーの最適なご提案等により，**お客さまの多様なニーズにお応えし，より多くのお客さまに選んでいただけるよう，取り組んでいきます**。

＜トータルソリューションサービス＞
［北陸電力ビズ・エナジーソリューション㈱ (北電BEST)※］
－設備受託や電力供給サービス等を通じ，お客さまの幅広いニーズにお応えします。※2019年1月 小売電気事業者登録

設備受託や電力供給サービス

＜北陸エリア外での販売＞
－首都圏エリアにおいて，代理店を通じた販売やアライアンス等，積極的な営業活動を展開します。

■地域エネルギーマネジメントの実現に向けた取組み
- 地域エネルギーの有効利用への貢献をめざし，**さまざまなリソースを活用した新たなサービスを展開**します。
- また，再生可能エネルギーの普及に対応した，新たなサービスを積極的に展開します。



エネルギーマネジメントのイメージ

(３)送配電部門
- 仕様・工法の見直し等に加え，一般送配電事業者間の仕様統一を検討し，共同調達を含め最適な調達を行うことで，更なるコスト低減を図り，**国内トップ水準の低廉な託送料金を維持**します。

３．グループ総力による事業領域拡大

■既存事業領域の拡大
- 保有する経営資源を最大限活用し，グループ各社の更なる経営効率化・競争力強化に向けた取組みにより，**グループ全体の利益を拡大し，持続的成長を目指していきます**。

＜取組み事例＞

・富山市小中学校空調整備事業受託［北陸電力ビズ・エナジーソリューション］	・5G普及に向けた基地局設備設置場所賃貸サービス［北陸通信ネットワーク］
・LNG販売の拡大［北陸エルネス］	・電柱防犯カメラの設置［北電テクノサービス］

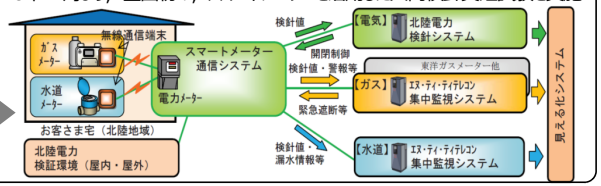
計数目標＜LNG累計契約量＞
・第一次期間[2022年度]＝**12.5万ｔ**（2030年度時点で**20万ｔ**）
※従来目標(2018年度10万ｔ)を達成したことから，更なる販売拡大を図ります

■新たな事業領域への挑戦
- **「地域の課題解決」，「保有資源と新技術を融合した新たなサービス」，「海外電力事業」**の3つの分野を中心に，**将来の課題解決を目指した新たな事業領域を創出**していきます。

※他社とのアライアンスやM&A等も選択肢に検討

＜取組み事例＞
・福井市公営ガス事業
・ガス遠隔検針サービス
・駐車場予約管理サービス
・電気・ガス・水道の共同検針実現に向けた実証試験
・ENECHANGE㈱への出資

- 2018年12月より，全国初の，スマートメーターを活用した共同検針実証試験を実施



４．企業文化の深化

長期ビジョンの実現に向け，**安全文化の深化・業務品質向上に継続して取り組みます**。加えて，**更なる生産性向上を図る**とともに，従来の概念に捉われない，**創造力のある多様な人財を育成・確保**していきます。